

染色体学会 2017 年版 染色体カレンダー写真作品募集のお知らせ

(一般財団法人) 染色体学会の活動の一つとして、染色体をテーマにした特製カレンダーを毎年作製しております。カレンダーの素材となる染色体をテーマにした「力作」を、染色体学会会員(または会員と共著者)の皆様より募集いたします。カレンダーに選ばれた作品は、11月3日~4日東京で開催予定の染色体学会年会会場内に展示させていただきます。なお、年会会場および学会事務局ホームページでカレンダーを販売する予定です。下記応募要領をご確認の上、奮ってご応募下さい。

締切：2016年8月26日(金)

応募先：〒683-8503 鳥取県米子市西町 86
鳥取大学医学部解剖学講座 稲賀すみれ 宛
E-mail : sumire@med.tottori-u.ac.jp
TEL : 0859-38-6013 FAX : 0859-38-6010

応募要領

(1) 対象作品

「染色体」をテーマにした学術的、技術的または芸術的に価値があると認められる写真、ユニークな写真を募集いたします(自薦、他薦を問わず)。あらゆる形式の顕微鏡法による作品を含みます。お一人で複数の応募も歓迎いたします。ただし、ほかの写真コンクールに入賞した作品、他学協会において入賞した作品は除きます。

(2) 応募資格

(財) 染色体学会会員(または会員と共著者であれば非会員でも応募できます)。

(3) 写真原稿

応募希望者は、作品のデータ①生物の学名、科名、染色体数など、②解説文(和文150字程度と英文)③写真の著作権所有者名を記入した<2017年版カレンダー写真応募用紙：年会ホームページからダウンロードして下さい>を8/26(金)までにE-mailまたはFAXにて上記応募先にご提出下さい。

(4) 画像データのファイル形式

作品の画像データ(JPGファイル)は、E-mailに添付またはCD-RやUSBメモリ等の電子媒体を郵送(封筒に「応募写真在中」と朱書きし、8/26(金)必着で上記住所宛送付)にてご提出下さい。作品は、ホームページ掲載の<見本>のように、材料生物または関連写真(装置などを含む)(横18.5×縦12.5~14.0cm)と、その染色体の画像(横8.0×縦5~9cm)のペア写真となりますので、それぞれの画像ファイルの解像度は少なくとも300dpi(これ以下の場合、画質が落ちますので、ご注意下さい)で作成をお願いいたします。出来上がりはA4の横長サイズとなります。

(5) 選考

カレンダーには13作品の応募が必要ですが、これを超える数の作品の応募があった場合、カレンダーに用いる作品を、写真の質、内容の学術的・技術的・芸術的価値その他の総合的見地から、編集担当者(谷口、稲賀)が選考させて戴きますのでご了承下さい。

(6) その他

作品を掲載したカレンダーの体裁は、これまでと同様で見開きA3判、月替わりです。カレンダーに掲載される作品の応募者に対して、カレンダーを5部差し上げます。また、希望者には実費でお分け致します。

見本

これは、2014年版カレンダーの表紙と12ヶ月分を一覧表示したものです。



染色体学会 2017 年版 染色体カレンダー 写真作品応募用紙

締 切: 2016 年 8 月 26 日(金)
 応募先: 〒683-8503 鳥取県米子市西町 86
 鳥取大学医学部解剖学講座
 稲賀すみれ 宛
 E-mail : sumire@med.tottori-u.ac.jp
 Tel : 0859-38-6013, Fax : 0859-38-6010

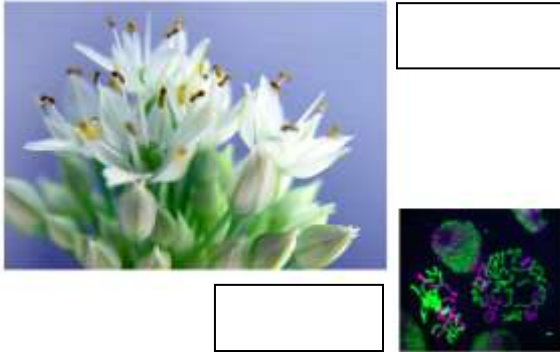
応募者名 (連名可)	
所属機関名 (代表者)	
連絡先住所 (代表者)	〒
E-mail	
TEL	
FAX	
作品データ	動物(ヒトを含む)、植物 (どちらか一方に○)
① 生物の学名、和名、科名、染色体数	
学名: 和名: 科名:(大文字) 染色体数:2n=	
② 解説文:和文(150字程度)と英文(次ページ記載例をご参照下さい)	
(和文)	
(英文)	
(季節性があれば希望掲載月):	
③ 写真著作権所有者名:	

<記載例>

(2010年1月:ネギニラ、山本真紀)

*和文解説:150字程度(カレンダーの最後ページに掲載)

栃木県農業試験場において、ネギに対してニラを花粉親とした胚培養によって得られた雑種植物。写真は根端細胞のGISH像で、ニラの16本の染色体をfluoresceinで緑色に、ネギの8本の染色体をローダミンで赤色にペインティングした。植物体は不稔のため株で繁殖を行う。葉身は甘みとニンニク臭があり「宇都宮ネギニラ餃子」として市販されている。



*英文解説(写真の横に掲載)

1.個体の説明(右上)

ALLIACEAE

Allium fistulosum × *A. tuberosum*

“Negi-nira”

A synthetic hybrid ($2n=24$) between *A. fistulosum* ($2n=2x=16$) and *A. tuberosum* ($2n=4x=32$) is known to exhibit reproductive sterility.

© Maki YAMAMOTO

2.染色体の説明(左下)

Chromosome painting in “Negi-nira” by GISH using genomic DNA probes of parent species (*A. fistulosum*: red, *A. tuberosum*: green), $2n=3x=24$.

© Maki YAMAMOTO